

## 自然再生実地研修（福井県若狭町気山「かや田」）活動報告

若狭町気山「かや田」をフィールドに、現場で自然再生の技術を学ぶ「自然再生実地研修」を（一財）日本緑化センターとの共催により実施しました。

### 1 日時・場所

#### (1) 座学研修、視察

日時：平成29年11月10日（金） 13：10～15：10 座学研修

15：30～16：30 視察

場所：プラザ萬象／座学研修、中池見湿地／視察

#### (2) 自然再生活動視察、安全講習、自然再生研修

日時：平成29年11月11日（土） 9：00～10：50 自然再生活動視察

11：00～11：40 安全講習

13：00～16：30 自然再生研修

12日（日） 9：00～10：30 自然再生研修

場所：久々子湖・三方湖／自然再生活動視察

若狭町気山「かや田」／安全講習・自然再生研修

### 2 講師等

コーディネーター

養父 志乃夫（里山里海湖研究所研究アドバイザー、和歌山大学大学院教授）

講師

岡野 隆宏（環境省自然環境計画課 保全再生調整官）

田辺 義郎（南西郷漁業協同組合）

富永 修（福井県立大学教授）

太田 博之（株式会社 庭樹園）

関岡 裕明（株式会社 BO-GA ）

### 3 参加者

全国の自然再生士・自然再生士補、県内の自然再生活動者 17名

※自然再生士は、一般財団法人日本緑化センターが認定している民間資格

### 4 主催

福井県里山里海湖研究所、一般財団法人日本緑化センター

## 5 内容

### (1) 座学研修

#### ①講義

／演題：自然再生工学概論

／講師：養父 志乃夫 氏

自然再生工事の計画と施工は土木工事や造園工事とは異なり、地形、植生、流水など現地の状況によって大きく左右されるため、現場をよく観察し、時空間の変化を考慮することが大切だと説明した。



#### ②講義

／演題：自然再生協議会と自然再生推進法  
～協働による保全・再生・活用～

／講師：岡野 隆宏 氏

自然再生推進法の概要とそれに基づく自然再生事業実施の流れについて説明するとともに、各地域の自然再生協議会の取組みについて紹介した。



### (2) 視察（中池見湿地）

参加者は中池見湿地での取り組みや動植物について説明を受け、現地で活動されている方と意見交換を行った。



### (3) 自然再生活動視察

#### ①シジミ採り体験

田辺氏は久々子湖での浅場造成の取組みや自然環境について説明した。また、実際にシジミ採りで使用する道具についても紹介した。参加者からはシジミの生態や久々子湖の水質など多くの質問がなされた。

※シジミ採りは荒天のため中止



## ②外来魚駆除見学

富永教授は、三方湖での外来魚駆除の取組み、生息する外来魚の種類について説明した。次に事前に仕掛けた網を用いて実際にどのような方法で外来魚の調査を行っているかを紹介した。



## (4) 安全講習

養父教授は作業時に自分の身を守るための必要な服装や用具について参加者と一緒に確認を行った。また、午後から実施する自然再生研修の内容や研修に使用する資機材の説明を行った。



## (5) 自然再生研修

### ①ヨシ群落再生研修

重機を用いたヨシの抜根による湿地の再生を行った。関岡氏はヨシの生態や「かや田」の地層の状態について説明し、太田氏は湿地でのバックホーの進み方や抜根の手順について説明した。



### ②ハンノキ林再生研修

大きくなりすぎたハンノキについて適正に間伐を行い、地上に光を入れることによって希少植物の生息地の再生を行った。伐採後は切り口からの萌芽の発生を防ぐために切り株に特殊なシートを被せた。参加者は伐採、重機によるハンノキの搬出といった一連の流れを見学し、湿地の再生方法を学んだ。また、重機が届かず、人の出入り

がない場所については、チェーンソーを使わずに樹を枯らす環状剥皮という作業を行った。



### ③動植物のモニタリング

ハスプロジェクト推進協議会がヨシを伐採抜根し、復田した田んぼで動植物のモニタリングを行った。関岡氏は「かや田」に生息する希少な動植物や折れ尺、水質計を用いたモニタリングの方法について紹介した。



### ④副産物の利用研修

参加者はヨシで作成した越前和紙に触れ、また、伐採したハンノキを利用したナメコの菌打ち、薪割り機での薪作りを実際に体験することで、副産物の利用について学んだ。

